

「大阪・関西万博に期待すること・実現したいこと」

豊田啓介

- ・大企業にもベンチャーにも研究機関にも個人にも、さまざまな技術を発表、実装、体験できる機会が開かれていること。またその技術とデータとを共有し未来に残す仕組みが整備されていること。
- ・新しい時代の動的な社会プラットフォーム（時間、空間、機能、関係性のシェアの形）を複合的に実装できること。それに見合った都市と交通、物流の形を探り、試験実装すること。
- ・モノと情報の重なり合う「コモングラウンド」実装と運用の一大機会とすること。それによって生じる新しいモノの世界、情報の世界の構造と運用のしくみを探り出すこと。
- ・これからの若い世代が中心的にビジョンを立て、実行し、運用し、レガシーを創る舞台となること。
- ・国や組織の敷居をこえるための仕組みが実装されていること。多様性を生かすしくみ。
- ・実際に会場に行かなくても参加、貢献、体験ができるしくみと、それを未来に残す仕組み。会場に行けば物理世界と情報世界が融合した唯一無二の新しい体験ができる仕組み。
- ・物理的バリアフリー、地理的バリアフリー、言語的バリアフリー、文化的バリアフリーを実現するしくみ。
- ・新しい万博のパラダイム、価値の提示。万博という歴史における 2025 年万博の画期的価値の戦略的明示。